

高温等の対策について

令和4年6月30日

J A全農ちば 営農支援部

関東甲信地方は6月27日（月）に梅雨が明け、全国的にも高温が続いています。今後もしばらく、30℃を超える日が続く予想（30日現在）されておりますので、下記を参考にして農作業や栽培管理における高温時の対策を講じましょう。

1. 熱中症に注意

農作業は可能な限り高温の時間帯を避け、マスクを外すなど熱中症対策を講じましょう。

(1) 熱中症対策

ア. こまめに**水分・塩分補給**をしましょう

汗をかくと体内の「塩分」や「ミネラル」も放出されます。スポーツドリンクのように「塩分」と「糖分」を一緒に摂ると体内への塩分吸収が良くなります。高齢者はのどの渇きや気温の上昇を感じづらく脱水しやすいため、こまめな水分・塩分補給が必要です。



イ. こまめに**休憩**を取りましょう

日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を緩め、手足を露出して体温を下げましょう。

ウ. 2人以上で作業、もしくは携帯電話等で**すぐに助けを呼べる体制**をつくりましょう

熱中症で倒れてしまった場合、処置が遅れると死亡事故に繋がるリスクが高まります。緊急事態にすぐに気づいてもらう環境づくりが大切です。

エ. **暑さ指数**もチェックしましょう

環境省から暑さの厳しさを示す指標が出ています。気温とともに参考にしましょう。

環境省：熱中症予防情報サイト：https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

(2) 応急処置について

ア. 水分補給をしましょう！

経口補水液も有効です。水 1L に対して砂糖 40g、塩 3g で作れます。

イ. 体温を下げましょう！

首筋、わきの下、脚の付け根などを冷やすとより効果的です。

ウ. 安静にして十分な休憩を取りましょう！

エ. 救急搬送をしましょう！

自力で水が飲めない場合や、意識が無い場合に**119番**で救急車を呼びましょう！

2. 栽培管理・技術対策について

(1) 水稲

幼穂形成期に入り、水が必要な時期です。出穂2週間後までは湛水管理、出穂後25日頃までは間断かんがいを実施しましょう。また、水不足も懸念されるため、併せて無駄のない水管理を行いましょう。

(2) 園芸作物

ア. 遮光資材を展張、もしくは遮光塗料を吹き付け塗布し、施設内の温度上昇を抑えましょう（施設）

イ. 換気扇を稼働し、施設内の空気を循環させましょう（施設）

ウ. 高温により土壌の乾燥・水不足が発生しやすいため、適切に灌水を行いましょう

エ. 水分競合・乾燥を防ぐために草刈り・敷きわら・敷草等を行いましょう（果樹）

その他、作物別の詳細な栽培管理・技術対策については「高温少雨における農作物の技術対策」（千葉県農林水産部担い手支援課）を参考に実施しましょう。また、電力ひっ迫注意報が継続（30日現在）されています。電力不足対策についても記載されていますので、併せて確認しましょう。

3. 防除について

(1) 高温時の薬害と作業時間帯

防除は朝・夕の涼しい時間帯に実施しましょう。散布後～完全に乾くまでに高温になるほど、薬害が発生するリスクも高くなります（一般的に30℃以上が目安）。薬液が乾くまでの時間も含め、作業が完了できるよう注意しましょう。

(2) 品目別の防除薬剤

高温・乾燥が続く場合には害虫の発生が増加する傾向になります。以下の薬剤にて防除を実施しましょう。

① 害虫

※希釈倍数に幅がある場合、濃い方の濃度を記載しております。

ア. トマト（コナジラミ・アザミウマ・ハモグリバエ）

IRAC コード	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無		
					コナジラミ 類	アザミウマ 類	ハモグリ バエ類
4A	ベストガード水溶剤	1000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○	
6	アフーム乳剤	2000 倍	収穫前日	5 回以内	○		○
5	ディアナ SC	2500 倍	収穫前日	2 回以内	○	○	○
28	ベネビア OD	2000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○	○
30	グレーシア乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○	○

イ. キュウリ (コナジラミ・アザミウマ)

IRAC コード	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無	
					コナジラミ類	アザミウマ類
4A	ベストガード水溶剤	1000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○(ミナミ)
6	アフーム乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○
5	ディアナ SC	2500 倍	収穫前日	2 回以内	○	○
28	ベネビア OD	2000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○
30	グレーシア乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○

ウ. ナス (コナジラミ・アザミウマ)

IRAC コード	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無	
					コナジラミ類	アザミウマ類
4A	ベストガード水溶剤	1000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○(ミナミ)
6	アフーム乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○
5	ディアナ SC	2500 倍	収穫前日	2 回以内	○	○
30	グレーシア乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○

エ. ネギ (ネギアザミウマ・ハモグリバエ・シロイチモジヨトウ)

IRAC	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無		
					ネギアザミウマ	ハモグリバエ類	シロイチモジヨトウ
4A	ベストガード水溶剤	1000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○	
6	アニキ乳剤	1000 倍	収穫 3 日前	3 回以内	○	○	○
5	ディアナ SC	2500 倍	収穫前日	2 回以内	○	○	○
28	ベネビア OD	2000 倍	収穫前日	3 回以内	○	○	○
30	グレーシア乳剤	2000 倍	収穫 7 日前	2 回以内	○	○	○

オ. サツマイモ (ナカジロシタバ・ハスモンヨトウ)

IRAC	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無	
					ナカジロシタバ	ハスモンヨトウ
28	プレバソンフロアブル 5	2000 倍	収穫前日	3 回以内	○ (4000 倍)	○
	フェニックス顆粒水和剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内	○	○
22A	トルネードエース DF	2000 倍	収穫 7 日前	2 回以内	○	○

カ. エダマメ (カメムシ・ハスモンヨトウ)

IRAC	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無	
					カメムシ	ハスモンヨトウ
4A	スタークル顆粒水溶剤	2000 倍	収穫 7 日前	2 回以内	○	
3A	トレボン乳剤	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内	○	○
28	プレバソンフロアブル 5	4000 倍	収穫 3 日前	3 回以内		○

キ. トウモロコシ (アワノメイガ)

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
14	パダン粒剤 4	6 k g / 10 a	収穫 7 日前	2 回以内
28	プレバソンフロアブル 5	2000 倍	収穫前日	3 回以内
	ベネビア OD	4000 倍	収穫前日	3 回以内
	フェニックス顆粒水和剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内
3A	トレボン乳剤	1000 倍	収穫 7 日前	4 回以内

ク. ナシ (カメムシ・ハダニ・シンクイガ)

IRAC	薬剤名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	対象害虫への登録の有無		
					カメムシ	ハダニ	シンクイガ ハマキムシ
3A	テルスターフロアブル	3000	収穫前日	2 回以内	○	○	○
28	サムコルフロアブル 10	5000	収穫前日	3 回以内			○
3A	ロディー水和剤	1000	収穫前日	2 回以内	○	○	○
4A	スタークル顆粒水溶剤	2000	収穫前日	3 回以内	○		○
20B	カネマイトフロアブル	1000	収穫前日	1 回		○	
23	ダニゲッターフロアブル	2000	収穫前日	1 回		○	
25B	ダニコングフロアブル	2000	収穫前日	1 回		○	

②病害

ア. ネギ （白絹病・軟腐病）

FRAC	薬剤名	希釈倍数 ・ 使用量	使用時期	使用回数※	対象 病害	備考
29	フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時但し 収穫 21 日前	2 回以内	白絹病	予防
7	モンカット粒剤	4～6kg/10a	土寄せ時但し	3 回以内		予防
	モンカットフロアブル 40	2000 倍	収穫 30 日前			
		アフエットフロアブル	2000 倍	収穫前日		2 回以内
11	メジャーフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内		予防・治療
24・M1	カスミンボルドー※	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内	軟腐病	予防・治療
24・31	カセット水和剤※	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内		
31	スターナ水和剤※	2000 倍	収穫 7 日前	3 回以内		
31・M1	ナレート水和剤※	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内		

※カスミンとカセットは同成分（カスガマイシン）を含むため合わせて 2 回まで、カセット・ナレート・スターナは同成分（オキシリニック酸）を含むため合わせて 3 回までのため、それぞれ総使用回数に注意。

イ. イチゴ （炭そ病）

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	1000 倍	育苗期（定植前）	5 回以内	予防
M3	ペンコゼブ水和剤	600 倍	仮植栽培期 但し収穫 76 日前	6 回以内	予防
	アントラコール顆粒水和剤	500 倍	仮植栽培期	6 回以内	予防
M4	オーソサイド水和剤 80	800 倍	収穫開始 14 日前	5 回以内	予防
M1	キノンドーフロアブル	500 倍	育苗期	3 回以内	予防
10+1	ゲッター水和剤	1000 倍	収穫開始 21 日前	3 回以内	予防・治療

ウ. ヤマトイモ・ヤマノイモ （葉渋病・炭そ病）

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	1000 倍	収穫 7 日前	5 回以内	予防
M3	ペンコゼブ水和剤	400 倍	収穫 21 日前	4 回以内	予防
M5	ダコニール 1000	1000 倍	収穫 30 日前	6 回以内	予防
29	フロンサイド SC※	2000 倍	収穫 7 日前	4 回以内	予防
1	トップジンM水和剤	800 倍	収穫 7 日前	5 回以内	予防・治療
	ベンレート水和剤	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療

※フロンサイド SC は葉渋病のみ